



TKK 共通シラバス

1. 科目名	環境政策ビジネス論				
2. 教員名	古武家 善成		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	2年以上	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

地域環境問題と地球環境問題が同時に進行する 21 世紀では、環境問題は複雑多岐にわたり、計画的で体系化した環境政策が求められている。また、環境問題のマネジメントにおいて、自律的解決を促す経済的手法は規制的手法を補う有効な手段となっている。

本講義では、環境問題の解決を組織的に行うための基礎となる環境政策と、環境政策の展開にも深くかかわる環境ビジネスについて、総論、各論の両面からその全体像に迫る。また、ミニ実習として環境問題解決のための政策の企画立案を体験する。

「環境情報学」と同様に、環境関連のニュースの解説、環境ディベート、ビデオ鑑賞を行い、環境問題に関する理解を深める。

8. 参考図書

「社会貢献活動支援士 公式テキスト」(TKK 各センターへお問い合わせください)

環境政策：「環境計画・政策研究の展開」原科幸彦編，岩波書店（2007）

環境省環境白書，兵庫県環境白書等

環境ビジネス：「新・地球環境ビジネス 2009-2011」エコビジネスネットワーク編，産学社（2009）

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前受講してほしい講義等】

環境問題を扱う連続講義として、「環境情報学」の受講が望ましい。

【事後受講してほしい講義等】

10. 提出課題など

環境政策案の提出等

11. 評価基準

授業への出席，環境ディベートへの対応，実習での環境政策案の作成，小テストを合わせ総合評価する。

評価対象としたこれまでの「レポート提出」は，実習で作成する環境政策案の「完成版提出」で代替する。これが最も重視される。

12. 学生へのメッセージ、要望

授業の内容や環境問題に関する質問，環境分野への進路相談など大歓迎です。気軽に話しに来てください

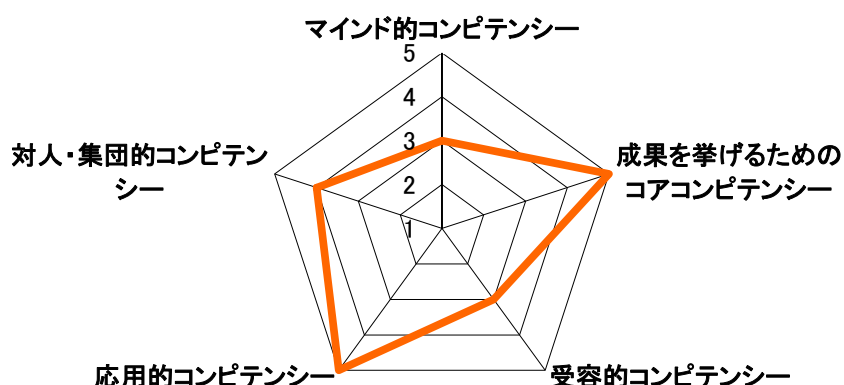
13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンスと序論	授業概要, 環境問題の歴史 (健康被害を中心に)
第2回	環境科学特論	原子力発電の原理と事故
第3回	環境政策総論	環境行政の歴史, 環境政策の実際, 環境アセスメント
第4回	廃棄物・災害廃棄物問題	一般廃棄物・産業廃棄物, 廃棄物による環境汚染
第5回	化学物質管理	法体系, PRTR 制度の実際
第6回	景観政策	景観法体系, 景観の評価, 京都の景観政策
第7回	環境ディベート1	環境問題に関するディベート
第8回	環境ビジネス総論	環境ビジネスの展望と課題, 環境ビジネスの実態
第9回	企業の環境への取り組み	企業の社会的責任 (CSR), 環境監査
第10回	低炭素社会実現への経済的手法	地球温暖化の科学, 排出量取引, クリーン開発メカニズム
第11回	再生可能エネルギーの展望と途上国への環境ビジネス	種類と特徴, スマートグリッド, アジア諸国の環境問題と環境ビジネス
第12回	環境ディベート2	環境問題に関するディベート
第13回	実習1 環境政策企画	行政担当者の立場になり, 環境問題解決のための政策を企画立案する
第14回	実習2 環境政策発表	企画した政策案を発表し討論する
第15回	まとめ	まとめと小テスト

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

授業内容の習得や実習での環境政策案の作成を通して、「成果を挙げるためのコアコンピテンシー」、「応用的コンピテンシー」が、環境ディベートを通して「対人・集团的コンピテンシー」が向上する。